公益社団法人徳島県看護協会
TOKUSHIMA NURSING ASSOCIATION
2013.1.1

協会ニュース 和

No. 74

徳島県看護学会

災害看護研修会

10/29 現在 平成24年度 会員数
4,234名

（スマートフォン対応）

■ CONTENTS

年頭挨拶 …… 2
知事要望 …… 2
叙勲 …… 2
職能委員会活動報告 …… 3
支部活動報告 …… 4
キラキラ新人さん …… 6
「災害看護研修会」報告 …… 7
学会報告 …… 8
医療・看護安全対策委員会より …… 8
ナースセンターだより …… 9
各お知らせ …… 10
編集後記 …… 10

年頭挨拶

平成25年

会長　水口　艶子

新春のお慶びを申し上げます。会員の皆様にはどのような目標をもって新年をお迎えになられたでしょうか。

厳しさの増す領土問題や基地問題、落ち着かない国政のなかで確実に少子高齢化は進み、医療・看護も、これからの社会の動きの中で大きく変化していくことを感じます。

徳島県看護協会は昨年の4月公益社団法人に移行し、6月で1歳を迎えることになりますが、運営上の課題も整理しつつ順調に歩んでいます。公益法人として、看護職のためだけの看護協会ではなく、県民の皆様の健康をお支えするための看護協会でもあることを会員の皆様にご理解いただき、いろいろな活動にご協力をいただきたいと願っています。

また、2025年問題を見据え、在宅看護の充実が急がれる中、今年の春、念願の徳島訪問看護ステーションが県の補助により新築完成する見込みとなっています。住民のニーズに沿った利用しやすい場所にしたいという思いで4月開設を目標に準備中です。今後は西部や南部の在宅看護の充実に向けても検討中であり、公益社団法人としての役割を果たせるよう、なお一層の組織強化に努めなければなりません。看護職の雇用の質向上、看護三職能の専門性強化、チーム医療、看護職の役割拡大など、課題山積の1年になりそうですが皆様のご支援をいただきながら歩んでまいります。皆様にとって素晴らしい1年になりますようご祈念申し上げます。

知事要望

公益社団法人
徳島県看護協会

1　看護職が働き続けられる環境の整備
2　看護職の確保対策の充実強化
3　看護基礎教育に関する協力支援
4　キャリア形成のための環境整備

平成24年

秋の叙勲

おめでとう
ございます

瑞宝単光章　吉川俊美 様

受章おめでとうございます。
永年のご活躍に敬意を表し、
心よりお祝い申し上げます。

活動報告

保健師職能委員会

住民のエンパワーメントを引き出すための取り組み

委員長
浦上 光子
Mitsuko Urakami

保健師職能委員会では、専門性の向上と時代の要請に応じた活動を行うために、保健師自らが研鑽を積み、領域を越えた連携強化とネットワークの推進のために、保健師職能集会・研修会を開催しています。

今年度は平成24年10月20日（土）に職能集会を開催いたしました。職能集会は、「住民のエンパワーメントを引き出すための取り組み」をテーマとして、取り組みの一つであるミュージカルの鑑賞や取り組み状況についてのお話を聞かせていただき、その後、本委員会の活動報告や保健師の専門性等についての意見交換を行いました。また、2月には「保健師の資質の向上のために」をテーマとした研修会を開催予定です。

その他にも、保健指導のスキルアップや情報交換、他機関の担当者との交流等を図ることを目的として、保健指導ミーティングを開催しています。

今後も専門性の高い保健活動を目指して、情報交換しながら、研鑽を積み領域を超えた連携とネットワークの推進に努めていきたいと考えています。

NEXT → Feb 保健師の資質の向上のために

活動報告

助産師職能委員会

安全・安心な出産環境の提供

委員長
宇山 弓子
Yumiko Uyama

「安全・安心な出産環境の提供」そのための課題発見が全国助産師職能委員会の活動目的です。そのため、数年前よりキャリアパス／クリニカルラダーの作成が検討されてきました。本年度はいよいよ作成されたラダーの評価を各地区の職能委員会で行います。そこで必要なことは皆様方の御意見です。各委員を通じ多くの意見をよろしくお願いします。

本県の本年度の計画としましては、10月13日に事例を通し妊娠中から産後の精神的な関わり方を学ぶ機会を設けました。また、2月2日に「技」を学ぶ研修を予定しています。

22年度に行いました母乳アンケートにもありましたように助産師自身が意識変化を起こし母乳育児の確立に目指すことそのためには母乳ケアの知識を深めることが大切です。そこで、助産師がお母さんと向かい合う分娩時のケア（会陰保護）と母乳ケアに焦点を合わせ開催する予定です。多くの皆様の参加をお願いします。

NEXT → 2/2「技」母乳育児の確立を目指す

活動報告

看護師職能委員会

働き続けられる労働環境づくり

委員長
森　恭子
Kyoko Mori

日本看護協会では、平成23年度より、1つであった看護師職能委員会をⅠの（病院領域）とⅡの（介護・福祉関係施設・在宅等領域）に分かれて活動しています。これは、看護職の力が、病院内に留まらず、多くの領域において必要とされているからです。本県においても、病院領域と介護・福祉関係施設等領域の2グループで委員会活動を実施しております。活動目標として、①看護職の専門性の強化②働き続けられる労働環境づくり③組織強化の3点を挙げ、様々な活動をしています。働き続けられる労働環境づくりのための、ワーク・ライフ・バランス研修会の開催、1月20日に介護・福祉施設で働く看護師の交流会の開催、2月9日には、日本看護協会常任理事である松月みどり先生をお迎えして、看護師職能集会を予定しております。様々な職場で働く看護職の働き易い環境づくりや、質の高い看護の提供の支援を目的として今後も活動していきたいと思っています。

NEXT → 2/9 看護職能集会 日本看護協会常任理事 松月みどり先生

支部活動報告

徳島支部Ⅰ

支部長 池本 澄代

徳島支部Ⅰ（鳴門・板野地区）では、支部活動として常設型「まちの保健室」を徳島県立図書館で行っています。また昨年度からは、鳴門市で開催されている「子どものまちフェスティバル」に参加させて頂いており、それに加えて今年度は、“徳島ヴォルティス鳴門市民デー”にも参加させて頂きました。今回は子ども達の“ナースに変身”だけでなく、新規に設けた“健康相談コーナー”では、健康に関心を持っておられる方が多いと感じた活動となりました。

今後も地域住民の方々に健康の保持増進と、子ども達には看護職に興味を持って頂けるように努力したいと思っています。ご協力よろしくお願い致します。

健康相談

ナースに変身

徳島支部Ⅱ

支部長 浅田 洋子

日頃より支部活動にご支援ご協力を頂きありがとうございます。

徳島支部Ⅱは、徳島市、名西郡、佐那河内村と広範囲な地域を担当しております。

年三回の施設交流会では、10～13施設の参加があり、地域住民の健康増進・福祉の向上を図るため、各種支部事業について活発な意見交換が行われています。

「まちの保健室」は、徳島県立図書館1階において毎月第2・第4土曜日13時～16時まで開催しております。どんなことでも気軽に誰もが相談できる、気軽に立ち寄れる場所として、多くの方にご利用いただいております。

今年度は、イベント事業として「一日まちの保健室」を9月17日（敬老の日）にマルナカ新浜店で開催いたしました。まちの保健室の活動を通して地域住民の方々の健康づくりに務め、専門職として地域活動への参加により、地域との連携を深めて行きたいと考えております。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

マルナカ新浜店にて「まちの保健室」

県立図書館1階にて

徳島支部Ⅲ

支部長 庄野 泰乃

徳島支部Ⅲは、小松島市、勝浦郡の地域を担当しています。平成24年度の活動は、まず、5月11日（金）に小松島市のショッピングセンター・ルピア内において、地域住民の方を対象に健康推進事業を実施しました。血圧測定、骨密度測定や血管年齢測定等の健康チェックや健康相談、とっさの時の救急法等を開催し、延べ467名という多くの方が参加され、大変盛況に終えることができました。また、阿南・美波支部と協同で、阿南市のショッピングプラザ・アピカ内に常設の南部まちの保健室を開設することができました。平成24年6月9日（土）より運用を開始し、毎月第2、4土曜日に健康相談を実施しています。毎回40～50名の利用者があり、大変好評を得ています。

今後も、地域住民の方々の健康増進をはかるため、看護職の専門性を活かし、地域に密着した活動を強化したいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

平成24年5月11日　一日まちの保健室　活動の様子

阿南・美波支部

支部長 栗本 敬子

阿南・美波支部では、H24年度の事業計画として①施設交流会の開催②ボランティア育成と募集③常設まちの保健室開設④3職能合同研修会⑤地域イベントなどの事業に取り組んでいます。

施設交流会ではそれぞれの担当者や施設間での情報交換を行い、まちの保健室ボランティアの育成については10月28日に研修・説明会を実施、常設「まちの保健室」は、皆様のご協力を得まして南部地区として、6月9日に阿南ショッピングプラザ「アピカ」店に開設することができ、なんでも気軽に相談できる場として、現在多くの方々にご利用していただいております。

また、地域イベントとして研修・健康相談・学校への出前授業の実施、看護の日の行事計画など積極的に地域へ出向き、多くの方々とふれあい、専門職として社会貢献ができるように取り組んでいます。

今後も、様々な活動を通じて、地域住民の方々の健康の保持増進に努めてまいりたいと思います。ご協力をよろしくお願いいたします。

吉野川支部

支部長 矢部 公子

11月3日「一日まちの保健室」

吉野川支部（吉野川市・阿波市）の今年度の活動は常設「まちの保健室」（脇町パルシー内）の運営と「思春期講座」「一日まちの保健室」を実施することです。

常設「まちの保健室」は皆様方のご協力で相談員を2人から3人に増やし順調に経過しています。

「思春期講座」は7月28日に、麻植協同病院に高校生12人と高校の先生1人を迎えて、「命を守る」をテーマにおこないました。受講した高校生の方は大変熱心に話を聞き、自分たちの役割や看護師の仕事について理解を深めていました。今後の生活や進路に役立つ内容だったと思います。

「一日まちの保健室」は11月3日に、阿波市文化祭会場（土成農業者トレーニングセンター）で実施しました。血圧測定・酸素飽和度測定147名、骨密度測定113名、体脂肪測定95名、管理栄養士による栄養相談10名、糖尿病療法士による糖尿病相談5名が受けていただき大好評でした。文化祭の責任者からは喜んでいただき、恒例で参加して欲しいと声がかかりました。

今後も、看護職の専門性を活かした活動を通して地域住民の健康増進福祉の向上に努めていきたいと思っていますので、ご協力をよろしくお願い致します。

美馬・三好支部

支部長 内田 桂子

美馬・三好支部では、地域住民の健康増進・福祉の向上をはかるため、各種事業を計画し、提供を行っています。

＊常設西部「まちの保健室」

脇町のパルシーで、第2・4土曜日の午後1時より4時まで健康相談を無料で行っています。また、体脂肪、血圧測定や、ストレスチェックなども実施しています。時間に追われず、ゆっくりとした気分で、健康相談できることが好評です。

＊高校文化祭の保健展での看護コーナー

県西部の高校6校の文化祭の一角で、進路相談や生徒同士で血圧などの測定体験を行っています。毎年「看護の心」普及事業の一環として各施設で受け入れている“高校生ふれあい看護体験”に参加した高校生も楽しみにしてくれています。進学先が決まったなど報告に寄ってくれることもあります。

また、西部地域で働く看護職の集まりとして、お互いの情報交換や、看護の質向上のための取り組みを行っています。依頼のあった中学校などへは、「出前授業」として、命や看護に関連した情報を発信しています。

キラキラ新人さん

いつも笑顔で場を明るく和ませる新人保健師・助産師・看護師さんの内に秘めた思い、今年の抱負をうかがいました。

保健師

池尾 沙織

徳島県南部総合県民局
保健福祉環境部（阿南）

保健師二年目となる今年は、保健師としての自分の役割や支援の目的を明確化することを意識しながら活動していきたいと思っています。対象の思いや現状を適切に捉え、ニーズに合った心に寄り添う支援を心がけていきたいです。また、自身の健康にも留意し、私らしく日々活き活きと保健活動に励みたいと思います。今年も幸せな１年となるように、向上心を持ってがんばります。

助産師

秋田 尚美

徳島大学病院
周産母子センター

お母さんからの「ありがとう」と、元気な赤ちゃんの泣き声を聞くと、この仕事を選んでよかった、としみじみ思います。周りには、将来の自分がなりたいと思う助産師のモデルの先輩たちがいて、どう頑張ればたどり着くのだろう、と思うと同時に日々仕事を行う上での自分自身の励みになっています。これからも失敗を恐れず、その経験から学び、さらなる飛躍を遂げたいと思います。

助産師

川原 紫乃

徳島市民病院

入職して半年以上が過ぎ、助産師として少しずつ分娩介助に携わるようになりました。新しい命の誕生に立ち会えることに助産師としてのやりがいを感じていますがその反面、母体と胎児、２人の命を預かるという責任の重さも感じています。まだまだこれからですが、私にとっては１例の分娩でも、産婦さんにとっては記憶に残る一場面であるということを忘れずに自己研鑽に努めていきたいと思います。

看護師

栗田 緑

たまき青空病院

昨年は看護師・社会人１年目で、右も左もわからず毎日が新しい発見・学んだ知識・技術の勉強の繰り返しでしたが、周りの先輩方に支えられて乗り越えられた１年でした。

今年は昨年学んだことを踏まえ知識・技術の習得に努め、根拠に基づいた看護を対象者やその家族に提供できるよう、１歩ずつ確実に成長していけるような１年にしていきたいと思います。

看護師

英 実輝

阿南共栄病院

昨年は看護師１年目ということもあり、無我夢中の１年でした。

今年は仕事面では患者さん、先輩方から色々な事を学ばせてもらい自己研鑽したいと思います。生活面では体力・精神力をアップするために色々なことにチャレンジしていきたいと考えています。

去年より、充実した一年になれるように今まで以上に頑張ろうと思います。

看護師

原 由香里

徳島赤十字病院

昨年は看護師１年目で、不安や緊張感の絶えない１年でした。その中で様々な患者様との出会いを通して喜びや悲しみ、看護の楽しさや難しさを感じることができました。

今年はこの１年間の学びをいかし、看護師としての知識や技術を高め、自信を持って看護を行えるようにしたいです。そして今後も人との出会いを大切に、笑顔を忘れず、患者様の心に寄り添える看護師になれるよう努力していきたいと思います。

看護師

村下 絵里

徳島県立三好病院

『あなたが居てくれて良かったと思われる看護師になる。』そう決めたあの春から１年が経ちました。昨年は１年目ということもあり毎日自分の任された仕事をこなしていくのが精一杯でした。今年は自分の任された仕事だけではなく周りにも目を向けて業務をこなせるようになりたいと思います。そしてこれからも目標に向かって技術、知識、精神を磨いていきたいと思います。

報告

災害看護研修会

テーマ

三連動地震に備え、今から看護職としてできることは何かを考える

ねらい

昨年の東日本大震災での医療体制の課題が明らかになり、本県においても「東海・東南海・南海」三連動地震に備え、災害医療体制の強化を図っているところであり県内の医療関係施設でも対策を講じている。そこで、各施設での対策や実践活動を報告し、看護職としてできることは何かを考えることで、県内の災害時医療体制の強化を図る。

日時・場所

平成24年9月29日（土）10時～正午
徳島県看護協会

内容

シンポジウム座長	徳島県看護協会	水口　艶子
徳島県における災害医療対策	県医療政策課	木下　慎次
三連動地震に向けての実践報告	県立海部病院	濱川みさこ
	桜木病院	上岡　住江
	麻植協同病院	中野　敦子
		葛籠比佐美
	田岡病院	藤島　智子
	たまき青空病院	石田ゆうき
	徳島赤十字病院	服部　裕子

研修会の詳細は、徳島県の医療とくしま（http://anshin.pref.tokushima.jp/med/docs/2012101700022/）に掲載しています。

報告

徳島県保健福祉部医療健康総局
医療政策課
稲井 芳枝

災害看護研修会には、96 施設から 290 名の参加がありました。

シンポジストとして、先ず医療政策課木下課長より「徳島県における災害医療対策」について取り組みの説明があり、各医療機関からは、災害訓練等の実践報告がありました。

その後、各シンポジストに具体的な質問があり、参加者との情報共有が図られました。

質問としては、「職員の連絡網や安否確認の方法は」「災害医療コーディネーターの役割は」「看護職員への意識付けの工夫は」「災害時は陸の孤島になるが救援活動は大丈夫か」「近隣施設間の連携は」等が出され、シンポジストとの意見交換を行いました。

今回の研修会を通して、

・災害訓練を必ず行う。各施設での工夫を行う。それにより平時からの危機意識の向上が図られる。
・特殊な部署の発生時マニュアルを作る等動けるマニュアルの作成・改善に取り組むことが必要である。
・他施設との連携や県・看護協会との支援体制を構築する等「連携」の重要性である。等が確認されました。

今後とも、各施設で災害訓練や参集訓練、マニュアルの作成・見直しを行うとともに、災害時の連携体制を構築するためには、日頃からの情報交換や情報共有が必要だと痛感しました。

報告

徳島県看護協会
会長
水口 艶子

昨年に引き続き、災害看護研修会の座長を務めさせていただきました。

災害に向けて皆様方が如何に真剣に対応しようとしているのか研修会への参加状況や熱心な雰囲気から感じることができました。また施設管理者のご理解をいただきシンポジストの皆様には貴重な報告をいただきました。昨年は 3.11 の救護に出られた皆様の報告、今年は 3.11 から学んだ今後の対応について施設の取り組みを報告していただきました。

災害看護は刻々と変化する中で生命を守るために「今までの自分の知識を総動員させ動く」ことです。災害看護マニュアルは、有事にマニュアルをみることが不可能であることをみんな知っているにも関わらずマニュアルを作れば安心していることが多いと感じています。マニュアルを体に覚えさせておかなければ知識の総動員はできません。動けるマニュアルを常に行動で確認しておく必要があります。「緊急時はその人らしさが表出される」「管理者の姿勢がその施設の看護者の看護を変える」ことをしっかりと受け止め、「徳島で起きたら――」看護職が連携して積極的に行動できるように、さらに前進して下さるよう期待しています。

報告

第31回 徳島県看護学会

第31回徳島県看護学会が12月8日（土）に看護会館で開催され、参加者は385名でした。はじめに水口会長より挨拶があり、その後、実践現場14施設から、口演発表15題、示説発表が12題の報告が行われました。

研究発表テーマは、糖尿病などの症例に関するもの、緩和ケア、救急看護、周産期看護、在宅ケア、フライトナースに対する意識調査などが発表され、活発な意見交換がされていました。

特別講演は、日本看護協会副会長の菊池令子先生による「看護師特定能力認証制度」の動向でした。この講演は徳島県で初めて行われたもので大変興味深い内容でした。今後の日本は「少子・高齢。多死社会」となり、それに対する医療・看護の動向とともに看護師特定能力認証制度の必要性がわかりやすく述べられており、多くのことを学ぶことができました。今回多くの示唆が得られ、これを今後に生かしていきたいと思います。

（文責　広報出版委員会）

医療・看護安全対策委員会

ワンポイント◆アドバイス

□ MRI検査 入室前のチェックリスト ☑

金属製または磁気に敏感な物品・素材がわからない物をもっていたり、身につけていませんか?

- 人工内耳
- 補聴器
- ペースメーカー
- シャント
- ステント
- 除細動器
- 刺激電極
- 刺青
- タトゥ
- ヘアーピン
- 髪止め
- ブラジャー
- 金属のついた下着
- 保温用下着
- エレキバン
- カイロ各種
- ニトロダーム
- 各種貼付剤
- ペン
- 鉛筆
- めがね
- カラーコンタクト
- ホック
- ファスナーのついた衣服
- アクセサリー
- 指輪
- ピアス
- 磁気カード
- 銀行カード
- クレジットカード
- IDカード
- かぎ
- 時計
- ライター
- 金属小物
- 携帯電話
- ポケットナイフ
- かつら
- ウィッグ
- ヘアエクステンション
- インプラント
- 差し歯
- 本格矯正装置
- 安全ピン
- ゼムクリップ

出典：JIRA 一般社団法人日本画像医療システム工業会

リスクマネジャ交流会

2012年
11月17日 9時30分 から 12時30分 まで

テーマ：**暴力行為への医療機関の取り組み**

目　的：**患者と医療者の安全と尊厳を守るために**
不当要求防止責任者講習

参加者：**76人**

医療安全相談と支援

安全で信頼される看護の提供

相談窓口はこちら

☎ 088-631-5544

受付時間：平日9時 から17時 まで

URL：http://www.toku-na.jp/

ナースセンターだより

e-ナースセンターに登録しましょう
https://www.nurse-center.net

ご注意ください
e-ナースセンターは公益社団法人日本看護協会「中央ナースセンター」が運営する看護職のための無料職業紹介サイトです。
ナースセンター及び看護協会の名称を使用するサイトや業者にご注意ください！！

「看護就職ガイダンス'12」が開催されました。

2012年11月25日(日)

参加数
求人施設 38施設 ／ 求職者 23名

求職者内訳
有資格者 16名 ／ 学生 7名

「ふれあい看護体験'12」が開催されました。

今年も夏休み期間中、28施設で385名の高校生がふれあい看護体験に参加しました。

患者さんの「ありがとう」がとてもうれしかった。

今回お世話になった施設で看護体験ができ本当に幸せでした。

夢に向かって頑張ろうと思います。

笑顔が似合う立派な看護師になりたい。

この行事に関しまして多大なご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

（参加者感想一部抜粋）

看護職相談室をご存知ですか?

相談はご本人を始め、同僚や上司、ご家族からも受付けています。個人情報は厳守いたします。
専門医師によるカウンセリングもあります。**全て無料です。**
お気軽にナースセンターまでお問い合わせください。

一次相談	月曜日から金曜日（祝祭日を除く）	13時から16時まで
カウンセリング	第1・第3木曜日（予約制）	13時から16時まで

徳島県ナースセンター ☎ 088-631-5544 tokushima@nurse-center.net

協会ニュース 和 No.74
2013年1月1日発行　発行：公益社団法人徳島県看護協会　〒770-0003 徳島市北田宮1丁目329-18　TEL：088-631-5544　FAX：088-632-1084　URL http://www.toku-na.jp/
発行者：会長 水口艶子　編集：広報出版委員会　印刷：(協)徳島印刷センター

看護ステーション新築工事地鎮祭をいたしました。

8/30(木) 10:00～

現在のステーションから徒歩５分ほどの場所に移転します。

いつでも　どこでも　誰にでも
良質の看護が提供できるよう努力しております。

「すべての人々が、住みなれた地域や家庭で、その人らしい生活が送れるように質の高い看護サービスを提供します」

ナースがつくるもうひとつの“家”
「**複合型サービス事業所あい**(仮称)」は
平成 25 年 4 月 OPEN！予定です。

スタッフ募集！
介護士さんも募集しています

新しいステーションでは一緒に訪問看護をしてくださるスタッフを募集しています。関心をお持ちの方はお問い合わせ下さい。

訪問看護ステーション徳島
☎ 088-631-3888

訪問看護　**訪問介護**

「通い」と同じ、顔なじみのスタッフが訪問します。
医療依存度の高い方の在宅療養も訪問看護でサポート。

【訪問介護】

通い

デイサービスの「通い」は、15名以下の少人数です。
家庭的な温かい雰囲気を大切にした対応やスペースづくりを行っています。

【レクリエーション】【リハビリテーション】

24時間365日
緊急時も安心

ケアマネジャーが一元管理

【訪問看護】　【送迎】　【食事介助・嚥下訓練】

泊まり

【食事介助】　【入浴介助】

日中の「通い」と同じ場所で同じスタッフが、対応します。
ご家族や利用者の目的や状況に応じたご利用が可能です。

(仮称)複合型サービス事業所あい
24時間365日、切れ目なく暮らしを支えます

1つの事業所から小規模多機能型居宅介護と訪問看護が一体的に受けられます。

事務局からのお知らせ

ワークライフバランス実現のための ワークショップの開催

平成24年 9/23

参加施設
徳島赤十字ひのみね総合療育センター
医療法人栄寿会 天満病院

現状調査したデータを KJ 法で分析し、めざす看護や働き続けられる職場環境の課題を明らかにしました。活発な討議となり参加者で共有できました。

この課題をアクションプランとして実践し、フォローアップワークショップとして１月 27 日結果を報告します。

データを正確に読み取りましょう

図書室からのお知らせ

3月18日(月)より3月末まで蔵書点検のため図書室を閉館します。

借りている本の返却も3月18日までにお願いします。

事務局からのお知らせ

公益社団法人徳島県看護協会
「定款・細則集」
について

小冊子が必要な方は、協会事務局までお申し出ください。後日、お手元にお届けします。

編集後記

会員皆様の暖かさに支えられ委員一同〔和〕をもって会報づくりに励んでいます。今後も皆様に新しい身近で親しみがもてるトピックスをお届けできるよう頑張りますので多くのご投稿、ご協力をお願いいたします。